

浅川地区住民自治協議会だより



せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 87 号

発行日 令和 4 年 7 月 31 日

発行人 金井 明 靖

TEL・FAX 026-244-5165

3年ぶりに地公連「春の地区内めぐり」行われる！

6月5日（日）に地公連の地区内めぐりが3年ぶりに開催されました。コロナ禍ということもあり半日の日程で、ブランド薬師から元地域おこし協力隊の宋さんのブドウ畑を見学し、浅川ダムを回って、真光寺の公民館で解散というコースでした。当日は午後には雨が降るとの予報も出ていましたが、幸いなことにお天気にも恵まれ、全員無事に行てくることができました。

今回は、昼食の豚汁は出さないということもあり、事前の参加申し込みは不要で、当日受付だけとしましたが、30名余の参加があり、最高齢は84歳の男性でした。

浅川地区の皆様は日ごろから散歩や農作業で足腰を鍛えていらっしゃる方が多いようで、ブランド薬師までの坂道も宋さんのブドウ畑に抜ける急な坂道も誰一人として救護が必要な方はいらっしゃいませんでした。むしろ、久しぶりに地域の皆様とおしゃべりをしながら歩くことや、元浅川公民館長の小島さんの説明に熱心に耳を傾け、地域の宝を再認識することを楽しんでいるようでした。

宋さんのブドウ畑では、地域おこし協力隊として浅川に移住した経緯を元長野市農業公社の清水さんからお聞きし、宋さんからは今年初収穫し来年の春にはワインができること、またいつでも農作業のお手伝いをしてくれる方を歓迎していることなどのお話を伺いました。収穫の時期には住自協でも収穫ボランティアの募集をするそうですので、多くの皆様のご参加をお願いいたしますとのことでした。

これからも地公連ではコロナの状況を見ながら運動会やゆうわ祭などの行事を感染対策をしっかりとって開催していく予定でいますので、ご参加をお待ちしています。

浅川地区公民館連合会 総括（総務・広報担当） 小林 栄子



出発式～30名余が参加しました



公民館を出発！



浅川河川敷遊歩道を通り……



ブランド薬師表参道に入る！



急な参道を一歩ずつ……



八槨神社に着きました！！



薬山山頂を経て宋裕光さんのワイン用ブドウ畑に到着。



浅川産ワインの夢に耳を傾けました。



後は下りです。みなさんお疲れさまでした。

<浅川地区住自協のPR動画>

“ハロー！JJK32～われらの住民自治協議会～”の撮影行われる！

長野ケーブルテレビから市内32地区の住民自治協議会の活動を広く市民に伝えたいという趣旨で、「ハロー！JJK32（ハロー ジェイジェイケー サーティーツー）」というミニ番組（PR）の作成の提案があり5月18日（水）に撮影が行われました。

当日は青空が広がる絶好の撮影日和！。出演した会長・副会長のみなさんはカメラを向けられ、緊張しながらも撮影を楽しみました。

番組は毎月放送で1ヶ月2地区放送されます。浅川地区は6月1日～15日の平日18:21、20:18／土日8:58、12:58、0:28に放送されます。長野ケーブルテレビの視聴ができる方は是非ご覧ください。またYouTubeにもアップされますので、浅川地区の魅力や住民自治協議会の活動を改めて知っていただけたら幸いです。



【緊張した面持ちで撮影に臨みました！～（左）金井会長（右）山岸副会長】



【撮影に参加した正副会長のみなさん】

“ニュースポーツ体験会”開催される！

～地公連の新規事業～ペタンク・囲碁ボール～



【ペタンク～対戦の判定も厳正に行いました！?】



【囲碁ボール～競技説明を真剣に受けています！】



【大会を想定して優勝カップも新調しました！】

地公連では昨年購入した新しいスポーツ器具～ペタンク・囲碁ボール～のお披露目を兼ねて5月14日（日）浅川体育館において、“ニュースポーツ体験会”を開催しました。

当初“ニュースポーツ大会”として実施する計画でしたが、参加者が少ないのではないかと、大会形式はまだ難しい等の理由から“体験会”としたところ、予想に反して関心が高く60名余の参加がありました。

参加者はそれぞれの競技について対戦の仕方や採点方法の説明を受けた後、全員がプレーを体験しニュースポーツの楽しさを実感していました。

地公連では今後器具を増やすなどして、各地区への貸し出しを含めて効果的な活用方法や“大会”の実施方法を検討していく計画です。

コロナ後の地域間の交流と親睦をはかり、活力のある地域づくりのために積極的な活動をして参りますので、区民のみなさんの一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

浅川地区公民館連合会 会長 田中秀実

荻原長野市長、浅川地区を訪問、懇談行われる

6月7日（火）荻原健司長野市長が昨年11月就任以来初めて浅川地区を訪問し、住民自治協議会・区長会の役員と懇談を行いました。

懇談では「浅川地区観光交流マップ」を参照しながら、浅川地区の地勢・名所・史跡や浅川19区の現況、これまでの「まちづくり計画」推進の状況を説明し、人口減少・高齢化の中で地域や各団体ともに活動の担い手が減っていくことが大きな課題であることを報告し意見交換を行いました。短時間の懇談ではありましたが浅川地区に対する新市長と認識の共有化を図ることができました。

市長からは各地区の活動に対する感謝とともに、札幌に2030年冬季オリンピック会場が決まった場合スパイラルの会場となるので、改めて浅川地区に相談をしたいとの話がありました。

懇談のあと、浅川ダム～「浅川フジバカマ苑」～宋裕光さんのワイン用ブドウ園を視察、ワインが好きだという市長は、今秋には初収穫が期待されるという宋さんの話に興味深げに耳を傾けていました。



【荻原市長のあいさつ・懇談の様子】



【宋さんの話に興味津々の市長（ワイン用ブドウ園視察）】



長野市地域・市民生活部長ほか地区訪問行われる

6月27日（月）長野市地域・市民生活部宮岡靖部長、地域活動支援課島田みち代課長等4名が浅川地区住民自治協議会を訪問、住自協からは金井明靖会長、山岸渡副会長、小川和夫事務局長が出席し、地域の置かれている現状や課題について、率直な意見交換を行いました。

住自協からは中山間地区と市街区が併存する浅川地区、特に中山間地区においては高齢化や人口減少の進行が著しく区や団体役員のみならず担い手がいなくなっていること、また市街区や住自協を構成する各団体においても同様な実情があり活動の継続性に危機感を抱いていることなどについて行政としての対応・考え方を質しました。

昨年策定された「長野市都市内分権基本方針」に掲げられた地域住民と市の「協働」＝「補完性の原理」の精神にもとづき、適切な役割分担のもとで「自分たちの地域は自分たちでつくる」活動が継続的に取り組むことができるよう行政として一層の支援を要望しました。

2022(令和4)年度「支所発地域力向上支援金事業」選考委員会行われる ～ 6 団体の 6 事業を採択！～

5月20日(金)地域の活性化や課題解決に向けた「地域力」の向上を図るため、地域で活動している様々な団体を支援することを目的として「支所発地域力向上支援事業」(支所長裁量予算50万円)の選考委員会が行われました。

本年度は、地区・団体より7件の応募があり、事業の必要性や事業効果、受益者の範囲等の観点から審査を行った結果、減額も含めて6団体に支援金を交付することを決定しました。支援金の有効活用により、各地区・団体の活動が一層活発になることを期待します。

事業採択団体及び事業名	支援対象事業概要
浅川社会福祉協議会 (除雪機導入事業)	福祉自動車が冬季に車庫からの出入りがスムーズにできるように除雪を行い、運転者(協会会員)の負担を軽減するとともに運行時間に遅れを生じないようにする。 【小型除雪機】
浅川西条公民館 (お盆フェスティバル用提灯コード整備事業)	コロナ感染防止のため会場レイアウトを変更、広めたスペースを照明する提灯コードを設置する。 【提灯コード1式】
あさかわ花✿花✿隊 (花壇整備用具導入事業)	多くの人が目に触れる機会の多い場所を癒やしの空間・集いの場にして、作業をしながら交流する場を創る。昨年「花と緑のコンテスト」で大賞を受賞。 【鎌、支柱、バッテリーブローワー】
浅川マレットゴルフクラブ (浅川マレットゴルフ場整備事業)	周辺の倒木を原木として利用、椎茸・くりたけ等を栽培するコマ打ち用の電動ドリルを使用するため発電機を導入する。 【インバーター発電機】
浅川団地自治会 (防災活動・地域活性化、環境整備事業)	災害時の救助、物資運搬、夏祭りでの子ども神輿参加者への水分補給飲料、白線引き用機材の運搬等幅広く活用する。 【折りたたみ式リヤカー】
長野市消防団浅川分団 (投光器整備事業)	火災及び災害発生時、夜間照明用の投光器を設置する。 【投光器】

地域防災力向上研修会開かれる

7月2日(土)浅川体育館において鶴賀消防署若槻分署主催の浅川・若槻・吉田地区合同の「地域防災力向上研修会」が開かれました。それぞれの地区から自主防災会長、防災指導員、消防団員等80名余が出席しました。

若槻分署の講義では「自主防災組織の強化に向けた取り組み」、「避難行動要支援者の避難誘導対策」の講義があり、また「自主防災組織強化補助金について」説明がありました。

猛暑の中、参加者は現実には直面する問題として真剣に講義に聴き入っていました。



【研修会の様子】

浅川にワインの風を！～

【地域おこしの現場から vol.2】



【6月のブドウ畑】



【花が咲き、すくすくと実が大きくなってきました！】

5月の萌芽からブドウ樹はすくすくと生育し、6月中旬に開花を迎え、畑内は華やかな香りに包まれました。心配していた梅雨でしたが、ほとんど雨が降らず、各地で史上最短を記録するなど、あっという間に明けてしまいました。

季節はすっかり夏。気温も35度を超える中で、作業は大変ですが、ブドウの病気のほとんどは雨（湿度）が原因なので、晴天に恵まれていることは幸運なことです。

9月の収穫までまだ先が長いですが、良い実が穫れるよう引き続きしっかり生育管理をしていきたいと思えます。

<お願いがあります！>

ブドウ収穫で使用する収穫箱を探しています。リンゴ用のものなど、不要なもの、格安で譲っていただけるものなどありましたら、是非ご連絡を頂きたいです。よろしくお願いいたします。

(宋 裕光 ☎090-4079-0714)

(元地域おこし協力隊 宋 裕光)

新任ご紹介

★浅川地区住民自治協議会 地域活性化推進員 下村守昭さん

6月1日から地域活性化推進員として、浅川住自協事務局の一員に加わりました下村です。西条地区では、区の役を務めた経験もありましたが、浅川地区全体への関わりは今まであまりなく、一からのつもりで皆様のご指導のもと一歩ずつ活動してまいります。

早速6月5日に、地区内めぐりに参加させていただきました。浅川河岸のハックルベリー栽培地、ホテル観賞地、ブランド薬師参道、フジバカマ苑と、多分これからの私の仕事場だと確認しながら歩きました。

業務に早く慣れ、浅川全ての地区を駆け回りしたいと思います。また皆様が事務所にお越しの際は、お声をかけていただくと有難いです。よろしくお願いいたします。



★長野市浅川支所 支所長補佐 羽深文男さん

4月に小田切支所より浅川支所へ異動してきた羽深（はぶか）と申します。

浅川地区は市街地のイメージでしたが、山間地が多く、また範囲が広く驚いています。

浅川地区の地域活動を支援させていただく所存ですのでよろしくお願いいたします。



社会福祉協議会コーナー

共に生きる



浅川社協 Tシャツ、 できました。



浅川社協の活動をより多くの方に知っていただくとう T シャツを作り、活動中に着用しています。目の覚めるようなグリーンと「あさかわくん」が目印です！

今年度も元気にはじまりました！親子の皆さんが思い思いに過ごせる場所になれるよう活動していきます。



【5月】こいのぼりを作ろう！

少子高齢化の今、子どもは宝。子育てのしやすい地域を作りたいですね。

【5月社協当番：松木さん】



初めは緊張した顔をしていましたが、帰る時は笑顔が見られてよかったです。
【6月社協当番：荒井さん】



【6月】手形足形アート

梅雨に入り、当日の天候が心配されましたが、晴天の空の下、「まちの縁側再興プロジェクト・えんがわ de igo」を開催しました。
この事業は地域の居場所として開放されている「まちの縁側」に出かけてみませんか？という浅川社協の活動です。↘



えんがわ de igo



新型コロナウイルスの影響で思うように外出ができない日々が続いていましたが、屋外での活動ということもあり、ご近所の方や散歩途中の親子さんも立ち寄ってくださり、すてきなお庭を觀賞しながら、会話の花もたくさん咲きました。

地域福祉推進セミナー



活動を地区外の方に知ってもらえてよかったです。
【社協副会長：宮澤さん】



6月17日(金)
@若里市民文化ホール
＜セミナーテーマ＞
「担い手はどこに？」

浅川独自の活動が他地区でも好評をいただき、よかったです。
【社協副会長：横川さん】

長野市社会福祉協議会主催で毎年開催されている長野市地域福祉推進セミナーのパネリストとして、浅川社協副会長の横川眞利子さんと宮澤さんご参加しました。
令和2年度より行っている「お手紙大作戦」にボランティアとして関わった経験を事例発表してくださいました。

盛況でよかったです。秋の交換会では、持ち帰りやすい小さめの苗をぜひお持ちください。

【花🌸花隊会長：岡田さん】



今年度から、浅川住民自治協議会へ団体登録を行った「あさかわ花🌸花隊」による花の苗交換会が6月18日に開催されました。

参加者の皆さんが思い思いに花の苗を持ち寄り、情報交換をしながら、交流を深めました。

秋にも交換会を予定しています。↓

花の苗交換会 & 福祉自動車助成フリマ & 古本交換会



同日には、ボランティアによる福祉自動車くちやん号運行助成のためのフリーマーケットと、西条のボランティア埋橋さん主催の「ちよこつと古本市」(古本交換会)も開催され、それぞれに賑わいを見せていました。

今後も団体の垣根を越えた活動ができればと思います。

家事援助

身の回りの家事に関するお手伝い(家の中の掃除・片付けなど)を二人体制で活動します。
身体介助は行いません。

地域
たすけあい事業
協力員募集!

福祉移送

歩行困難な方の自宅から医療機関への福祉自動車による移送。(2日間の研修があります)
身体介助は行いません。

詳しくは、たすけあい事業コーディネーター・野口まで ☎263-3365

浅川小学校コミュニティスクール(CS) 運営委員会開かれる

5月24日(火)今年度第1回の委員会が浅川小学校において開かれました。この委員会は「地域と共にある学校づくり」を目的に学校活動を支援するために平成27年度から始められたものです。

委員会では教頭先生より、昨年1年間コロナ禍が続く中、子ども達の健康状態や安全に配慮しながら活動を行ってきたことが報告されました。また浅川地区のみなさんや各団体と連携する令和4年度コミュニティスクール活動計画が説明され、未だコロナ感染の動向が不透明な中で中止せざるをえない事業があり、特に体育の授業が十分に行えないため児童の体力の低下が著しく、恒例だった飯綱山登山を中止せざるをえないとの説明に驚きを覚えました。

こうした中でも「浅川っ子」たちが、人数ややり方を制限される中でも「運動会」や「浅川チャレンジ」等の活動を通して、地域の中で元気に成長していっほしいと願っています。



【委員会の様子】

その他の主な事業・活動

☆春のあいさつ（愛の声かけ）運動行われる

次世代育成部会 5 団体（青少年育成委員会・育成会・浅小PTA・北中PTA・少年警察ボランティア協会）は民生児童委員協議会、更生保護女性会ほかの協力を得て 6 月 14 日（火）～17 日（金）浅川小学校正門前で「あいさつ運動」を実施しました。

7 時半頃から続々と登校する子どもたちの「おはようございます!!」の元気な声が響きました。なお北部中学校でも 6 月 1 日と 7 月 1 日に実施しました。また浅川小学校では今年も 5 月 28 日に観覧する人を 2 名に限定、時間を午前中だけにして運動会を実施しました。



【“おはようございます！” 明るいあいさつで一日が始まります。】

☆県主催「浅川ダム祭り」・浅川ダム展望広場愛護会の農産物直売…… 7 月 23 日（土） *記事次号

☆「社会を明るくする運動 浅川地区住民のつどい」

…………… 7 月 30 日（土）（実行委員会主催） *記事次号

お知らせ

《自治体活動保険》のご案内

浅川地区住民自治協議会や各区で行う事業、行事、会議などの活動に参加した際に起きたケガ等の事故に対して補償を受けられます。浅川地区住民自治協議会で加入契約し、19地区全区が適用対象になっています。

☆支払いの対象となる事故の例 ー 地区での運動会・スポーツ行事・各区での草刈り・お祭りでのケガ、回覧等配布時の事故、他人の物を壊し賠償責任を負った場合

<補償内容>

賠償責任（対人・対物共有）	100,000千円（免責0円）
傷害補償 死亡・後遺障害	3,000千円
入院	2,000円/日
通院	1,000円/日
傷害見舞費用保障	3,000円～10万円

☆活動中に事故が発生した場合は、行事主催者・責任者（各団体の長、区長等）に連絡を願います。住民自治協議会の証明が必要です。

☆事故発生した場合は、とりあえず住民自治協議会事務局【TEL：026-244-5165】にご連絡、ご相談ください。

保険選びは安心と信頼の当社代理店へ！

保険に関する悩みはございませんか？

有限会社 長野東海総合保険企画

TEL 026-284-0706

営業時間：9:00～17:00

定休日：土曜・日曜・祝日

広報委員から

6 月も半ばを過ぎ、ジメジメとした梅雨の季節。浅川の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

今回、広報委員を仰せつかりました浅川地区白バラ会長の拝野です。

今年は 7 月 10 日には参議院議員選挙、8 月 7 日には県知事選挙が行われます。

投票率の低下が叫ばれていますが、選挙は私たちの生活に密接につながる大事な政治の選択の機会です。権利を無駄にしないよう、たくさんの方々が投票所に足を運んで頂きますようよろしくお願いいたします。

広報委員 拝野美由紀（総務環境部会・白バラ会会長）